

教科・科目	理科・生物	学年	2	教科書	東京書籍 スタンダード生物
		単位数	3	副教材	教研出版 六訂版 リードα 生物基礎＋生物 実教出版 サイエンスビュー生物総合資料

学習目標	○ 日常的な生物的事象に興味・関心を持ち、科学的に探求しようとする力を育成する。 ○ 生物や生物現象についての実験や課題研究などを通じて、科学的に探求する力を育成する。 ○ 基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
	身の回りの現象を例に上げて生物現象を説明することや最新的话题を取り上げることで、興味・関心をもたせる。また、実験を通して科学的な見方や考え方を身に付けさせる。		
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	日常的な生物的事象に興味・関心を持ち、主体的に疑問点を見いだすとともに、科学的な態度を身につけようとしている。
	b	思考・判断・表現	生物の学習を通して得た自然の事象に関する知識の理解を基礎として、日常的な自然現象の中に問題を見だし、実証的・理論的な思考を行い、科学的に判断することができる。
	c	観察、実験の技能	生物の実験・観察の技能を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探求する方法を身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができる。
	d	知識・理解	生物の実験・観察などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解できる。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
					a	b	c	d		
1 学期 1 2 週	生命現象と物質	6	細胞と分子	生体物質と細胞 細胞膜を介した物質の移動 生命現象とタンパク質	○	◎	◎	◎	生体物質と細胞 細胞膜を介した物質の移動 生命現象とタンパク質に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。	次の①～④を総合的に判断して行う。 ① 定期テストの成績 ② 実験の取り組み状況 ③ 課題・レポート等の提出状況とその内容 ④ 授業への取り組み状況
		10	代謝	代謝とエネルギー代謝 同化 異化 窒素同化・窒素固定	○	◎	◎	◎		
	20	遺伝情報の発現と調節	遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー	○	◎	◎	○	遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジーに関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。		
2 学期 1 4 週	生殖と発生	25	生殖と発生	有性生殖	○	◎	○	◎	減数分裂と受精 遺伝子と染色体に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。	次の①～④を総合的に判断して行う。 ① 定期テストの成績 ② 実験の取り組み状況 ③ 課題・レポート等の提出状況とその内容 ④ 授業への取り組み状況
			動物の発生	○	◎	◎	◎	配偶子形成と受精 初期発生の過程 細胞の分化と形態形成 器官形成に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。		
			植物の発生	○	◎	○	◎	配偶子形成と胚発生 植物の器官形成に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。		
	生物の環境応答	17	生物の環境応答	動物の反応と行動	○	○	◎	◎	刺激の受容と反応 動物の行動に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。	
			植物の環境応答	○	◎	○	◎	植物の環境応答とそのしくみに関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。		
3 学期 9 週	生物と環境	12	生物と環境	個体群と生物群集	○	◎	○	◎	個体群 生物群集に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。	次の①～④を総合的に判断して行う。 ① 定期テストの成績 ② 実験の取り組み状況 ③ 課題・レポート等の提出状況とその内容 ④ 授業への取り組み状況
			生態系	◎	◎	◎	○	生態系の物質生産 生態系と生物多様性に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。		
	生物の進化と系統	15	生物の進化と系統	生物の進化	◎	◎	○	◎	進化のしくみ 生物の起源と生物の変遷に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。	
			生物の系統	○	◎	○	◎	生物の分類の変遷と系統 生物の系統関係に関して学習内容を十分理解し、意欲的に実習、学習に取り組んでいる。		
合計時数(50分授業)		105								